

深成岩や、半深成岩って、どんな岩石なの



地下深い所でゆっくり冷えて固まったかこう岩などが、
深成岩、あさい所で固まったものが、半深成岩なのさ。

深成岩は、ゆっくり冷やされて、つぶの大きさがそろっている

岩石は、地下のマグマ（熱でどろどろにとけた岩石）が地表近くで冷えて固まった火成岩と、水のはたらきでできるたい積岩の2つに、大きく分けられます。

火成岩は、熱いマグマが、地下のどのへんで冷やされて固まったかによって、岩石のつぶのつくりや種類がちがってきます。

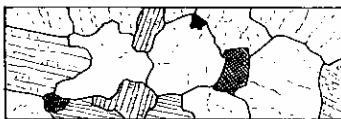
マグマが、地下の深い所で固まったときは、少しずつ冷えるため、つぶ（^{けっしょう}結晶）の大きさがそろっていて、つぶどうしががっちりかみ合っている岩石になります。これを深成岩とよぶことがあり、かこう岩、せん緑岩などが、このなかまです。

地表近くで冷やされた岩石ほど、少ない数の大きなつぶが散らばって見える

マグマが地上に出たり、地上近くで固まったときは、急に冷やされたため全体はつぶには見えず、中に大きなつぶが散らばって見られます。このような岩石を、火山岩とよぶことがあります。このなかまには、安山岩やげん武岩、マグマが流れたあとが残る流もん岩などがあります。

マグマが、地下のあさい所で固まったものは、半深成岩とよばれています。固まるときの深さのちがいで、深成岩に近いものから火山岩に近いものまでいろいろあります。深成岩に近いひん岩、火山岩に近い石英はん岩などがあります。

火成岩のつぶのつくりのちがい



深成岩（かこう岩など）



半深成岩（石英はん岩など）



火山岩（安山岩など）